

目 標 達 成 計 画

事業所名： グループホームほほえみの郷

作成日： 平成22年 6月 3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	一人ひとりのその日の希望に沿った外出支援は入居者の重度化・立地条件等で困難である	一日の内に、短時間の外出、又は外気に触れることが出来るようにする	外出支援表を作成し、外出頻度を把握し、その上で、外出を好まない入居者に対して、どのような支援が出来るか検討していく	6ヶ月
2	39	起床したままの格好で一日を過ごす事があり、身だしなみやおしゃれに対し出来ていないことが時々ある	髪の毛などの乱れに気を配り、その人らしいおしゃれが出来るようにする	特に行事や外出の前など、身だしなみに気を配り、利用者が化粧する機会を作り、本人とともに考え実施していく	6ヶ月
3	48	入居者個々の出来る事、出来ない事が職員全員で共有できていない	入居者個々の残存能力が最大限発揮出来ることを再度、確認し職員全員で共有できるようにする	入居者個々の残存能力が最大限発揮出来るよう、その掌握に職員全員で努め共有していく	3ヶ月
4	40	職員の休憩時間と、入居者の食事時間が重なり、一緒に食事を摂ることが出来ていない	週1回でも、一緒に食事が取れるようにする	共同生活の場所であることを再度認識し、今後は職員間で話し合いの場を設け、入居者と共に食事が出来るよう努めていく	2ヶ月
5	33	看取りの指針、対応方法が全職員に共有されておらず、不安を持つ職員が多い	看取り指針を全職員が共有すると共に、対応についてより細やかな研修を行う	グループホームとして再度、指針内容を確認検討を行い、改めて全職員に指針及び対応について説明、及び、看取りに関する研修を行い、職員の不安解消に努める	1年

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	10	家族様が職員に話しかけにくいのではないか？	話しかけやすい雰囲気を作る	接遇研修を図り、話しやすい雰囲気作りに努める。また、職員からも家族様へ積極的に話しかけ、家族様との日常さり気ない話しを交わしながら、情報の交換等に努めていく	1年
7	13	職員を育てる取組があまり出来ていない	取り組んでいくようにする	様々な研修受講が出来るよう努めると共に、職員交互に受講者による伝達研修を推進していく	1年
8	40	配膳時や準備中に、入居者が触ったり、つまんだりするので準備ができにくい	スムーズに準備が出来るよう環境を整える	棚の作成や環境の整備を行い、スムーズに準備が出来るよう努める、	2ヶ月
9	2	地域行事や年間行事に家族様の参加が少ない	家族様にも参加していただく	今まで以上に、施設における行事、日程等の情報を伝え、参加を促し、家族様と入居者と共に事業を遂行する	1年
10					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。